



「武徳」と「環境」を歴史から考えて見る。明治6年富国強兵策として部活動(武活動)教育が実施され、神の成せる業に踏み込む驕り！(講演のテーマから)



現在の学校教育における部活動は、放課後の「児童あずかり」「非行防止」と称し改善されることがない。しかし、その「部活動」実は、「武活動」であった。

また、いま騒がれている「環境」においても正しく知ることが日本人には、不可欠である。(浜松グランドホテル 4月5日)

### “武道・武徳”

- 1.798年桓武天皇により“武徳”殿建立
- 2.1600年代に大東寺友山により“”武道”初心集」が書かれた。武道(Budo)=武士道(Bushi Do)は、わが国日本固有の伝統哲学で発祥は、日本である。
- 3.部活動は、日清戦争、日露戦争に備え学校において軍事教練の一端としスタートした「武活動」である。
- 4.教師教育のない日本:警察官には、警察学校、陸軍には、陸軍士官学校がある。先生には、先生学校が無い！叱り方がわからないのが当然。また、敗戦後の空白の時代が“公平に審査判断出来る人物”も無くしてしまった…。正しく審査判定できない者が判定員では、由々しき事態である。

### “環境”

- 1.16世紀からの化石燃料によるCO2で温暖化は、進むのか？それほど地球は、デリケートか？地球史から考えると寒冷化、氷河期に向かっているのでは！生物遺伝子学、物理学、農学のエキスパートの見解は？
- 2.2050年には、わが国の人口は、7千万人に現象！CO2 25%削減は、何もしないで達成！国民の血税1兆3千億円は、無駄使い？
- 3.日本刀の鉄は、リサイクルできるが石油、石炭エネルギーは、2500年には、無くなる？いずれにしても石炭は、黒いダイヤと言われたほどの神からの贈り物は、氷河期に備え子孫たちに残さねばならない。

**「忠・孝」を忘れ！派手やかな勝負や利に走る日本人！**

日本人の誰もが武道は、日本固有の武士道哲学と明確にしたい。



# 世界に大和撫子を育てたい！



2013World Kenpo Championship  
2013世界拳法選手権 2013WKCが開催！

It is held in Japan on August 4.

Budo is Bushido philosophy. Budo es la filosofía de Bushido.

2013Campeonato de Kenpo mundial el 4 de agosto.

# 拳 静岡県三ヶ日青少年の家で体験学習「テーマは、リーダー指導者育成」

経験こそわが師！ Experience is my teacher. Young healthy upbringing.

学校教育に本当の「国語」があるのは、我が国、日本と韓国だけと言われている。しかし、授業に「武道 BUDO」があるのは、日本だけではない。一般の学校のみならず警察士官学校や陸軍士官学校なのは、当然、必修となっている。これは、武技を学ぶだけでなく指導力や規律ある行動、集団生活の思いやりを学ぶ為である。今の学校教育にない厳しさ！「げん骨も飛ぶし、気合もいられる！」これは、能力的に無理なものには、行わない。能力があるのに武士道に劣る行為をすれば、である。

しかし、いまだかつて卑怯な振る舞いをしたもの稀である。走る時も座る時も見ている者は、いない！全員がやるからだ！そして、リーダーは、育っていく！！

2013年三ヶ日青少年の家合宿「体験学習」が4月20日、21日に行われました。2013 Mitsukabi Camp「Experience is my teacher.」今年も、1週間遅れて開催したため学校の行事と重なり20名ほどがキャンセルになり、更に天候に恵まれなかったため海の行事がなくなり残念な合宿でした。しかし、元気にスポーツテストなどをこなしました。



## 会員をご紹介下さい！

会員募集中！

電話053-439-0909